

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	図書館運営事業（政策）						事業類型	管理・運営
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	
			10	04	04	03	政策経費	根拠法令
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象
	第2節 生涯学習の充実						市民協働	行政主体
	[1] 生涯学習						担当課係等	図書館
事業期間	3 生涯学習施設の整備充実							図書館
	継続（平成27年度～）							

現状把握の部（D0）

【目的】 図書館を利用する幅広い年齢層の住民に対し、生涯学習の中核施設として資料や情報の提供を行い、円滑に図書館を利用できるようにする。	【関連事業】 蔵書整備事業
【期待される効果】 市民が読書等を通して心豊かな生活をおくることができる。	【対象者】 市民および近隣住民
【全体概要】 図書館を利用する幅広い年齢層の住民に対し、資料や情報の提供を行い、安心して利用できる環境を整備し、図書館サービスの充実を図りながら、図書資料の受入れ、貸出、各種団体活動の推進を図る。	【特記事項】
【平成25年度 事業内容】 図書の貸出、図書検索情報提供、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰、夏休み一日図書館員体験講座	【平成26年度 事業内容】 図書の貸出、図書検索情報提供、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰、夏休み一日図書館員体験講座
【平成27年度 事業内容】 図書の貸出、図書検索情報提供、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰、夏休み一日図書館員体験講座	

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	460	353	5,167
歳入計（千円）		460	353	5,167
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	07 賃金	0	0	4,838
	08 報償費	216	224	216
	11 需用費	183	68	52
	12 役務費	16	16	16
	19 負担金、補助及び交付金	45	45	45
歳出計（千円）（A）		460	353	5,167
（参考）		当初予算額	0	当初予算額
職員人工数		0.90	0.90	0.85
職員人件費（B）		7,254	6,942	6,758
総事業費（A）＋（B）		7,714	7,295	11,925

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	図書蔵書数	冊	目標	128,000.00	128,000.00	128,000.00
	図書・視聴覚資料の購入、蔵書点検作業		実績	100,586.00	104,086.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	貸出冊数	冊	目標	88,000.00	88,000.00	88,000.00
			実績	82,820.00	82,159.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画による。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 読書意欲の高い住民は多く、図書館のニーズは高い。民間で図書館を運営しているところもあるが、公共性の高いものであるため妥当であると考えている。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 小中学校図書室との連携強化や広報誌等での情報提供により、読書意欲の向上に努め、あじさい館図書館に足を運んでもらう。また、千代田分館の拡充や貸出し方法・場所についても検討する必要がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 ②の理由により影響があると考える。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 図書等貸出事業は他事業と類似するところは少ない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 正職員の配置は2名のみであるため、貸出し業務は嘱託や臨時職員、整理作業はボランティアに頼るところが多く、これ以上の人件費削減は難しいと考える。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 霞ヶ浦地区にある「あじさい館図書館」は、霞ヶ浦(中)地区は勿論、下稲吉(中)地区住民もある程度の図書貸出しがされているが、千代田(中)地区の貸出しが少ない。

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	千代田地区住民の方にあじさい館図書館に来館してもらうための施策の検討や千代田分館の拡充。
1次評価(1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 中泉栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 蔵書点検日の減やレファレンス業務の拡充など、市民にとっての新管理システム導入のメリットを示すこと。千代田分館の拡充や図書館に来館しなくても借りられる貸出し方法についても検討する必要がある。		
2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 誰もが利用しやすい図書館サービスの提供に努めてください。		

計画対象年度	平成26年度
--------	--------

事務事業評価シート

事務事業名		蔵書整備事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	図書館法 かすみがうら市図書館条例	
			10	04	04	05	政策経費			
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象		
	第2節 生涯学習の充実						市民協働	行政主体		
	[1] 生涯学習						担当課係等	図書館		
事業期間		継続（平成27年度～）						図書館		

現状把握の部（D0）

【目的】 図書館を利用する幅広い年齢層の住民に対し、生涯学習の中核施設として資料や情報の提供を行い、円滑に図書館を利用できるようにする。		【関連事業】 図書館運営事業
【期待される効果】 市民が読書等を通して心豊かな生活をおくることができる。		【対象者】 市民および近隣住民
【全体概要】 市民の知る権利を充たし、地域及び住民ニーズに応じた情報提供を行うため、図書館本館及び分館に優良な図書・雑誌及び視聴覚資料を年次的に整備していくとともに、予約・検索システムを活用し利用者の利便性を図る。		【特記事項】
【平成25年度 事業内容】 図書・視聴覚資料の購入、蔵書点検作業	【平成26年度 事業内容】 図書・視聴覚資料の購入、蔵書点検作業	【平成27年度 事業内容】 図書・視聴覚資料の購入、蔵書点検作業

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	6,237	5,749	5,485
歳入計（千円）		6,237	5,749	5,485
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	18 備品購入費	6,237	5,749	5,485
歳出計（千円）（A）		6,237	5,749	5,485
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -4.59 予 -26.3
職員人工数		0.90	0.90	1.05
職員人件費（B）		7,254	6,942	8,348
総事業費（A）＋（B）		13,491	12,691	13,833

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	図書蔵書数	冊	目標	126,000.00	126,000.00	126,000.00
	年度末における図書・視聴覚資料蔵書数		実績	100,586.00	104,086.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	図書貸出冊数	冊	目標	80,000.00	88,000.00	88,000.00
	年間の図書・視聴覚資料貸出冊数		実績	81,820.00	82,159.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画による。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 読書意欲の高い市民は多く、図書館のニーズは高い。民間で図書館を運営しているところもあるが、公共性の高いものであるため妥当であると考えられる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 貸出し冊数を増やすためには、市民のニーズを掴むことが大切であるが、その方策を検討する必要がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 潜在的に読書意欲の高い市民が多く、本を購入するのではなく、本を借りる生活が定着している。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 正職員の配置は2名のみであるため、貸出し業務は嘱託や臨時職員、整理事業はボランティアに頼るところが多く、これ以上の人件費の削減は困難であると考えられる。また、図書購入費も年々減少しており、図書の品揃えが図書館の命であるため、これ以上の削減は難しい。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 霞ヶ浦地区にある「あじさい館図書館」は、霞ヶ浦(中)地区は勿論、下稲吉(中)地区住民もある程度の図書貸出しがされているが、千代田(中)地区の貸出しが少ない。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	限られた予算の中で、地域実情及び市民のニーズに的確に応じた、選書が重要である。
1次評価(1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 多様な方法で情報を収集、検証し、住民ニーズに沿った蔵書を揃え、入館者数、図書貸出し冊数の増に努める。		
2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) これまで同様、レファレンスサービスの充実や図書館ネットワークの活用に努めてください。		

計画対象年度	平成26年度
--------	--------

事務事業評価シート

事務事業名	ブックスタート事業 (政策)						事業類型	広報・啓発			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令	なし		
			10	04	04	07					
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり							総合計画対象	対象		
	第1節 教育の充実							市民協働	行政主体		
	[1] 幼児教育							担当課係等	図書館		
1 幼児教育の推進							図書館				
事業期間	継続 (平成27年度～)										

現状把握の部 (D0)

【目的】 子育て支援の一環として、生後4ヶ月児及びその保護者を対象に、赤ちゃん絵本を介して心のきっかけづくりをする。	【関連事業】 母子保健事業
【期待される効果】 新しい図書館ファンの開拓	【対象者】 市内在住4ヶ月児の保護者
【全体概要】 子育て支援の一環として、生後4ヶ月児健診時に赤ちゃん絵本と保護者に対し、絵本を介して心のきっかけづくりを行い、ボランティア団体の協力を得て、本を読むことの大切さを説明し、絵本やアドバイス集をパックにして手渡す。	【特記事項】
【平成25年度 事業内容】 絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布	【平成26年度 事業内容】 絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布
【平成27年度 事業内容】 絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布	

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	359	149	337
歳入計 (千円)		359	149	337
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
	11 需用費	359	149	337
歳出計 (千円) (A)		359	149	337
(参考)		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 126.1 予 126.1
職員人工数		0.20	0.20	0.20
職員人件費 (B)		1,612	1,543	1,590
総事業費 (A) + (B)		1,971	1,692	1,927

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	ブックスタート実施回数	回	目標	12.00	12.00	12.00
	年間のブックスタート実施回数		実績	12.00	12.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	ブックスタートパック受取人数	人	目標	330.00	330.00	330.00
	ブックスタート事業に参加した4ヶ月児及びその保護者		実績	304.00	272.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画による。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 配布した絵本の読み聞かせをきっかけとして、親子のきずなを深め、本好きの情緒豊かな子どもに育ってもらいたいという事業であり、これは、家庭の教育力の向上と地域の将来の担い手育成にも貢献しており、行政関与は妥当であると考え。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 本事業を通じて、読書に関心を持ち、図書館利用に直接結びつけたい。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 ②の理由により影響があると考え。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 保健センターと連携し、4ヶ月検診の場に赴き、絵本の配布と読み聞かせを行っている。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 絵本の配布、読み聞かせ共に、地域民生委員と読書ボランティアに頼っており、絵本の購入費以外の費用はかかっていないため、事業費、人件費の削減は難しい。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 保健センターの協力を得て、生後4ヶ月児検診の場で事業を行っており、対象者は生後4か月児童とその保護者であるため、公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	発達段階に合わせた、絵本等の紹介など、親子の読書意欲向上のために、本の選定が重要である。また、配布後、親子を図書館に向かわせるための方策を検討する必要がある。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) ただの絵本配付事業に終わらず、同事業をきっかけに、親子を新しい顧客として開拓、定着させられるような方策を検討する。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 読み聞かせボランティアの養成に努め、すべての赤ちゃんと保護者に楽しい読書体験をさせてください。		